

日本語指導 ワークショップ

井上 恵子

1. ねらい

児童生徒の発達段階と日本語力に応じた「日本語指導略案」を作成する。

2. グループ及び課題

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A	初期指導	小学生 中学年	にほんごを まなぼう 33課「えんそく」
B	中級指導	小学生 高学年	ひろこさんのたのしいにほんご 2 72課「お父さんはラジオを聞きながらお風呂に入っています。」
C	教科学習に向けて 国語科	小学生 低学年	教育出版 1年 「けむりの きしゃ」
D	教科学習に向けて 社会科	小学生 高学年	東京書籍 6年 「日本とつながりの深い国々」
E	教科学習に向けて 算数科	小学生 中学年	啓林館 3年 「分数」
F	教科学習に向けて 理科	小学生 中学年	大日本図書 4年 「電池のはたらき」
G	初期指導	中学生	JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE 15課「べんきょうのあとで、じゅうどうをします。」
H	教科学習に向けて 国語科	中学生	段階的的作文指導の在り方
I	教科学習に向けて 数学科	中学生	啓林館 1年 「正の数。負の数」

3. ワークショップの進め方

時間	活動内容
11:25～11:45	1. ワークショップの進め方についての説明を聞く。 ・ねらい ・グループ分け ・課題 ・時間配分 ・指導略案の作成方法及び留意点 ・発表方法 ・パソコン
13:00～14:45	1. グループに分かれて、課題についての指導略案を作成する。 (パソコンの「指導略案の形式」に書き入れる) 2. 発表の準備をする。
14:45～16:15	1. グループ発表をする。 発表時間6分 (講評)

4. 指導略案作成上の留意点

- (1) 指導時間は小学校45分、中学校50分とする。
- (2) なるべく、4技能(聞く・話す・読む・書く)を入れる。
- (3) 過程の欄の()に時配を入れる。
- (4) 必要に応じて、日本語力に合わせて「リライト教材」を作成する。
- (5) 必要に応じて、補助資料として「翻訳教材」を活用する。
- (6) 必要に応じて、補助者との連携を図り、補助内容を明記する。
- (7) より分かりやすく、そして楽しく指導するための「教材・教具」を作成し、提示の仕方等、工夫する。
- (8) 先行学習としての指導案を作成してもよい。



<p>終末 (5)</p>	<p>○本時のまとめをする。 ・家庭学習（ワークシート続き） ・次の時間の予告 ○終わりのあいさつ</p>	<p>○校外学習が楽しみになるように声をかける。</p>
-------------------	--	------------------------------



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A・2	4月に転入、ほぼ日本語がわからない。計算はできる。	4年生	えんそく

1. 目標 遠足で使う物の名前を知る。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<p>1. あいさつ、カレンダーワークを行う。</p> <p>2. ビデオ、写真を見せ、遠足についてのイメージをもたせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつものカレンダーに遠足の日を印つけておくことで、興味をもたせる。 ・「えんそく」という言葉と内容をおおまかにつかめるビデオや写真を提示する。 ・リュックに注目させることで、課題にせまる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダー ・遠足の写真やビデオ
展開 (30)	<p>3. 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">えんそくでつかうもののなまえをしろう。</div> <p>4. 教師の演示を見て、リュックの中身を入れるものと数を知る。</p> <p>5. 同カテゴリの他の物を提示し、選んで入れていることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にリュックから物を取り出すことで、中に何をいれてあったのかを視覚的に理解させる。 ・カードや実物を提示し、カテゴリの箱に入れる。 ・児童自身がカテゴリを分けられる場合は分けてみる活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リュック ・お弁当カード ・おやつカード ・レジヤースシート ・水筒 ・カテゴリの箱（お弁当、おやつ、レジヤースシート、水筒）

	<p>6. リュックの中身を選んで入れる活動を行う。</p> <p>7. リュックの中身を開け、遠足のお昼の様子を演技する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 教師が事前に演示することで、お弁当は1つなど、入れてよい数があることを伝える。 • おやつは、500円までであれば複数入れてよいことを伝える。 • リュックをもたせ、並んで遠足に行く模擬を行うことで、イメージをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電卓 • 計算シート • 遠足の場（背景）
<p>終末 (5)</p>	<p>8. 物の名前とグループの確認を行う。</p> <p>9. 次時の予告を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュカードを用いて、物の名前とグループを確認する。 • 教科書を提示し、次はどんな学習を行うか。イメージをもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュカード • 教科書



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A3	初期指導	小学生 中学年	にほんごを まなぼう 33課「えんそく」

1. 目標 「～に～時まで」の意味を覚え、集合時間と集合場所を理解することができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (6)	1 あいさつ 2 月日、曜日、天気 3 □の練習 ・あいうえおの歌	○カレンダーの読み方を指導する。 (2日→ふつか) ○大きな声で正しく発音できているか確認する。	・フラッシュカード ・カレンダー
展開 (34)	4 言葉を覚える ・何時 ・何時何分 ・集合 ・場所 ・時間 ・出発 ・乗車 ・電車 ・出口 5 文型を覚える ・「～に～時まで集合します」という文型を覚える。 ・図を用いて、集合場所を確認する。	○教師が言った時間に合わせて、児童が時計の針を合わせるようにする。 ○言葉の意味が分かるように、実物や絵を用いて説明する。 ○文型を正しく言えるように、教師が繰り返し発音してみせる。 ○視覚でわかる教材を用いる。	児童用時計カード 遠足で行く場所の写真 集合場所の絵 (学校・博物館の出口)
終末 (5)	6 本時の確認と次時の連絡 ・「～に～時まで集合します」の文型を確認する。	○ワークシートを用いて、本時の学習の振り返りをする。	ワークシート

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
B1	在日1年未満 日本語の中級 動詞の「～て」系を習得ができている。	中級 小5年2人 小6年1人 計3人	「ひろこさんのたのしいにほんご2」72課「～は～ながら～しています。」の文系

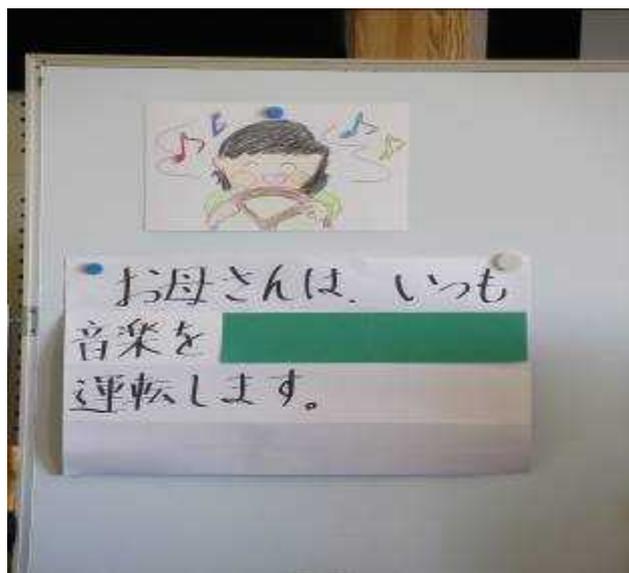
1. 目標

「ながら」という言葉を使って、同時進行を表す文を作り、話すことができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 カレンダーワーク (何月, 何日, 何曜日) ・日本語の歌を歌う, 詩を朗読する。 ・CD を使いみんなで歌う。 2 動詞の絵カードで動きを表す言葉の復習をする。	・歌の際にはジェスチャーをしながら, 大きな声で元気よく発声させ, 楽しい雰囲気を作る。 ・忘れていた児童がいたら, 思い出せるようヒントカードを使用する。	絵カード 掲示物 ヒントカード
展開 (30)	3 学習課題をつかむ ・例文を読んで基本文型を知る。		基本文例図
	「ながら」を使った文を作ろう		
	・今日の例文 「お母さんは, いつも 音楽を聞きながら運転します。」 ・一斉に読んだり, 個別に読んだりする。	・わからなくて困っている友達がいたら教え合うことができるように声かけする。 ・ノートに一度書いてから発言できるようにする。	掲示物 拡大絵 セリフカード ノート
	4 テキストの読み文型に慣れる		テキスト

	<ul style="list-style-type: none"> 一人ずつ字を読んだり，点読みしたりする。なるべく動作をつける。 <p>5 テキストの絵カードを見ながら何をしているか類推する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文と絵の組み合わせを考える。絵カードと，文カードを組み合わせる活動をする。 組み合わせができれば，読む。 <p>6 主語を自分にして，</p> <ul style="list-style-type: none"> 「～ながら」の文を作って発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ジェスチャーを交えながら，楽しい雰囲気を作れるように声かけする。 教師も参加してペアで行うようにする。 机間指導をし，困っている児童がいれば助言する。 発音しづらい児童については教師が個別に発音し，モデルを示す。 ノートを読んでも良いとする。 	絵カード
終末 (5)	7 文型ワークシートを書いて本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> テキストの文型練習プリントを活用する。 個々の日本語力に応じたワークシートを使用する。 	学習プリント



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
B2	中級指導	小学生 高学年 2人	ひろこさんの楽しい日本語2 72課「お父さんはラジオを聞きながらお風呂に入っています。」

1. 目標
一人の人物が同時進行の形で行っている2つの動作を、「ながら」を使って表すことができる。
2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 7分	1 始めのあいさつ。 2 カレンダーワーク。 3 動作を表す言葉の確認をする。 ・新聞を読みます ・ご飯を食べます…その他	児童がわかりやすいよう、日常生活でなじみのある絵カードを掲示する。	・動詞の絵カード
展開 30分	4 「～しながら…します。」の動きを見る。 ・音楽を聴きながら、勉強します。 ・歌いながら歩きます。 5 本時の学習の目当てを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「ながら」の使い方を覚えよう</div> 6 「～しながら…します。」の～部分を考えて発表する。 7 ジェスチャーゲームをする。	「～しながら…します。」の動きをやってみせる。 「～しながら…します。」の…部分を指定する。	・文型シート

終末 8分	8ワークシートをする。 9感想を言う。		• 漢字文型 練習帳
----------	------------------------	--	---------------



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
C1	簡単な日常会話はできるが、学習言語が十分でなく、在籍学級の授業についていけない。	小1 パキスタン 国籍 2名	教育出版1年 けむりのきしゃ

1. 目標

文章と挿絵を結びつけながら、場面の様子について人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。

【日本語】

詰まる言葉、伸ばす言葉などに気を付けながら、楽しく音読ができる。

2. 展開（2/7）

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・お口のたいそう 「てっぺん」「おじいさん」「きしゃ」など。 ・カレンダーワークを行う。 日付、何日、何曜日、天気を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ついたち」「ふつか」など特別な読み方に注意させる。 	フラッシュカード
展開 (35)	<ol style="list-style-type: none"> 1 4枚の挿絵をもとに順番に並べる。 2 挿絵を順番に並べたら、音読をしてあらすじをつかむ。 3 音読のなかで言葉を確認する。 <p>「ながればし」「えんとつ」「てっぺん」「まき」「もやしはじめました」「けむり」など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵をもとに教師がリードしながら、全体であらすじを確認する。 ・詰まる音、伸ばす音を丁寧に発音させる。 	挿絵4枚 「は」「へ」の掲示物

<p>終末 (5)</p>	<p>4 今日、学習した言葉を書く。 その言葉を紹介する。 「ながればし」を覚えたよ。 「まき」を覚えたよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・印象に残った言葉を書かせる。それを友達に発表することで、本時の振り返りを行う。 ・児童の実態によっては、複数書かせてもよい。 <p><評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に音読しようとしているか。 ・詰まる音、伸ばす音などに気を付けながら読むことができたか。 	<p>ワークシート（マス目） 縦書き</p>
-------------------	--	--	----------------------------



日本語指導略案

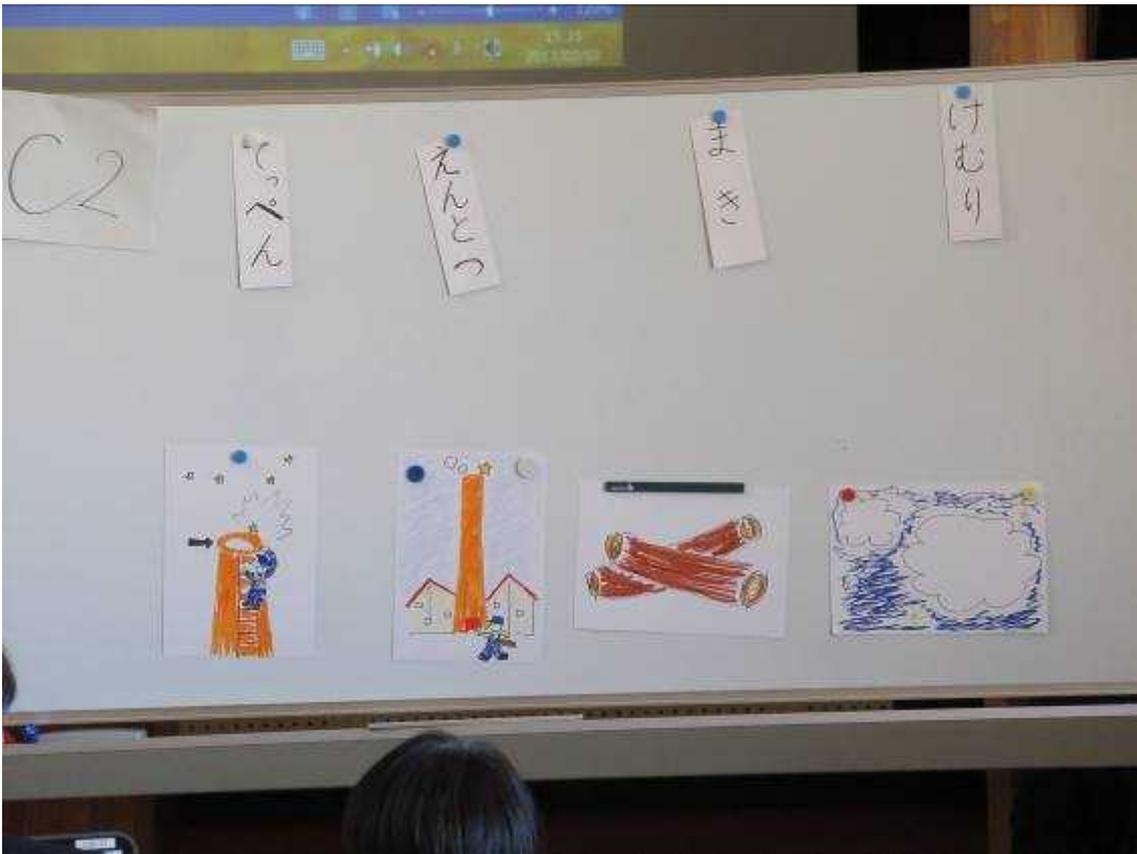
グループ	日本語力	対象	教材及び課題
C2	ひらがな全般、特殊音節が理解できた程度の日本語の能力。	2年生	「けむりのきしゃ」 出典：教育出版国語1年

1. 目標

- ・文章と挿絵を結び付けながら、場面の様子について人物の行動を中心に想像を広げながら読む。
- ・長音の読み方と書き方を理解する。

2. 展開 3/5

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (8)	1 カレンダーワークをする。 ・月、何日、曜日を言う。 ・今日の天気、何時に起きた、朝ご飯は何を食べたか等。	・「〇月〇日」を声にだし、日本語での日にちの言い方を確認する。	・カレンダー ・公文の「食べ物」カード
展開 (32)	2 「けむりのきしゃ」を音読する。 ○お話の中のでてくる言葉の意味を確認する。 ・「えんとつ、てっぺん、まき、けむり」などの意味を知る。 ○のばす音の入った言葉を探す。 ・おじいさん ・あげよう ○のばす音の練習をする。	・教師の範読の後について読ませるようにする。 ・絵カードと文字カードを正しく合わせられるようにする。 ・いろいろな長音の練習をする。 ・長音を正しく読んだり書いたりする。	・絵カード ・文字カード ・ワークシート
終末 (5)	3 「けむりのきしゃ」(P46・47)を音読する。 ・読んだ感想や思ったことなどをはっきりと話して聞かせる。	・話している言葉に、耳を傾けて聞く。	



日本語指導略案

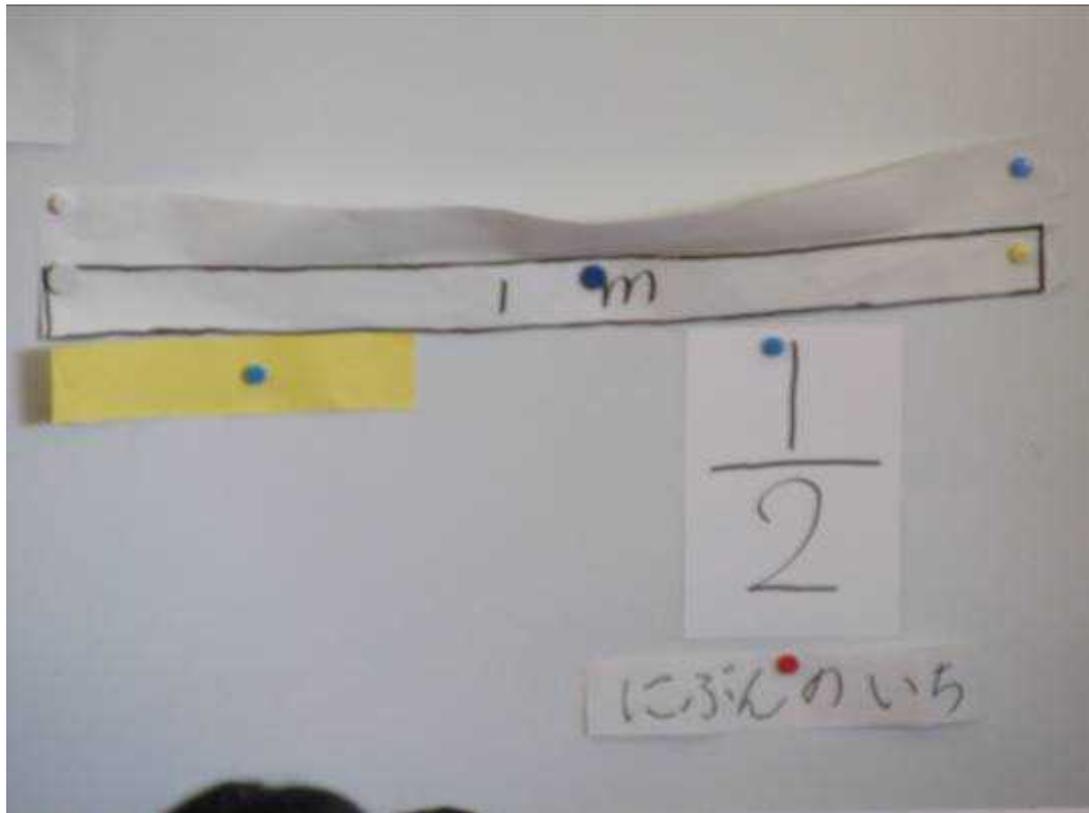
グループ	日本語力	対象	教材及び課題
E1	サバイバル終了 ひらがな、カタカナ読み書き OK	3年 一人	分数（先行学習として）

1. 目標：1/2, 1/3、「はした」の言い方を知る

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5分)	<p>おはようございます カレンダーワーク 口の体操（教科書の音読等）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>1 mに足りない長さの言い方を知ろう</p> </div>		<p>カレンダー 国語教科書</p>
展開 (30分)	<p>「はした」について知る。 「はした」を切り取る</p> <p>1 mのテープを半分に折る 「はんぶん」は「にぶんのいち」といいます。 「にぶんのいち」を1/2と書きます。</p> <p>3つに折る 「さんぶんのいち」 1/3</p> <p>試しに自分で1/2と1/3をつくる。</p> <p>切り取った「はした」が それぞれの1/2、1/3となることを知る。</p>	<p>1と1/2、1と1/3mのテープを用意し、「はした」を教える</p> <p>先生と一緒にいる。各自に1 mのテープをわたす。</p> <p>色違いの1 m テープを用意する</p>	<p>テープ</p>

<p>終末 (10分)</p>	<p>1/2、1/3は1mテープのどれだけで すか 色を塗る。 「1/2、1/3はこれだけです」と答え る練習をする。</p>	<p>「はした」を利用し、 「どれだけですか」を 理解させる。</p>	<p>ワークシート</p>
---------------------	---	---	---------------



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
E2	日常会話はできる。母語はスペイン語。	3年	3年「分数」

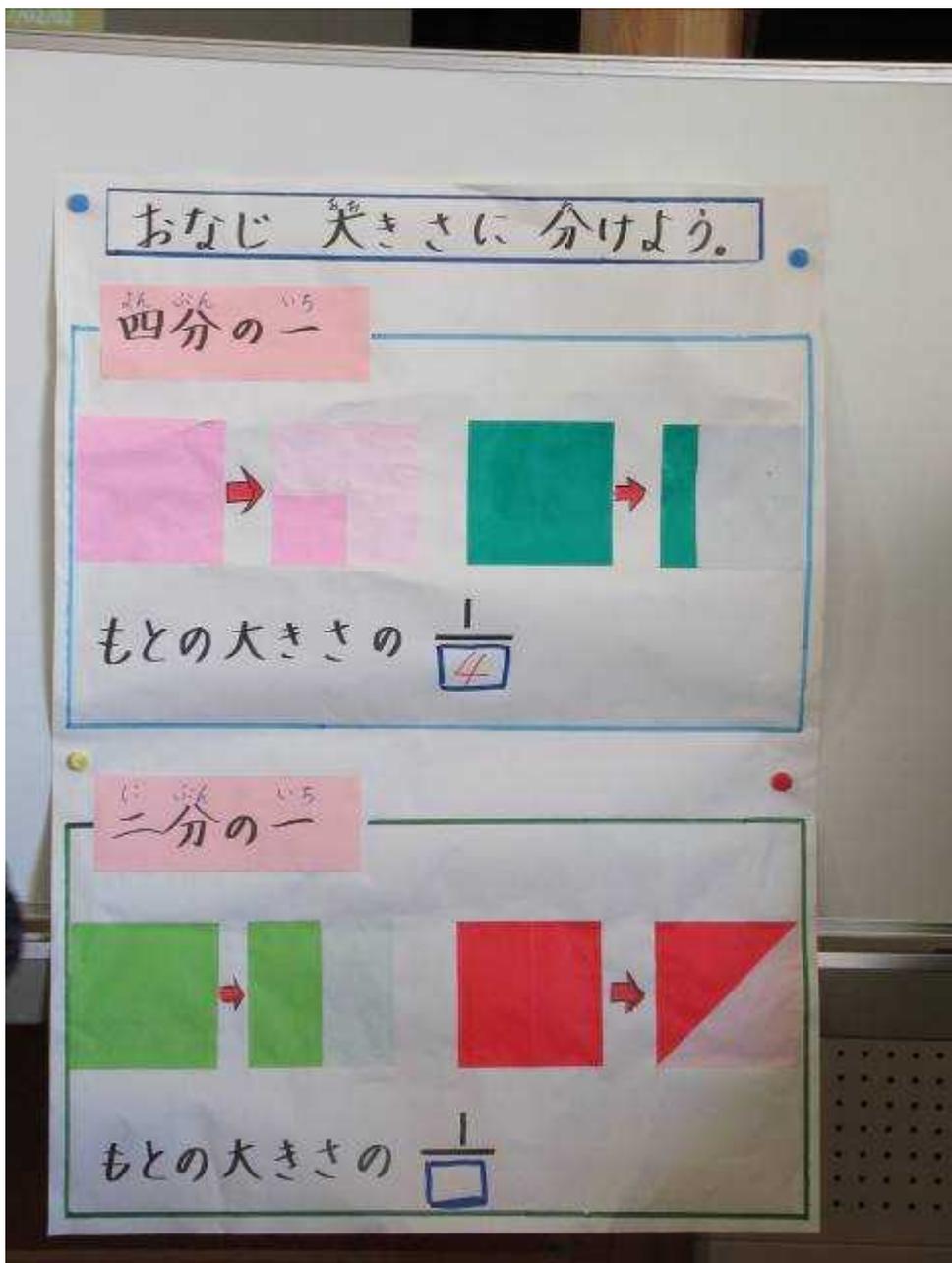
1. 目標

- ・等しい大きさに分けることの意味が分かる。
- ・いろいろなものを等分した1こぶんの大きさを分数で表すことができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1はじめのあいさつをする。 ・カレンダーワーク ・既習の単位や形と関連づけた復習をする。	・前学年で学習した、形や単位など本時と関連のありそうな言葉を復習する。	単位カード
展開 (25)	2本時の学習の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">同じ大きさにわけよう。</div> ○ピザを見て、同じ大きさにわけ ることを知る。 ・4等分を知る。 ・4分の1の言い方を知る。 ○ピザ以外の物でも等分や○分 の1の言い方を確認する。	・児童が興味を持ちそうな事柄から入る。 ・大きさの違うものも提示して等分の意味を理解させる。 「同じ大きさに分ける」 ・児童のわかる言葉に置き換えて説明する。「4つの同じ大きさにわけた。」 ・分数の読み方の違いにも着目させる。 ・4等分「同じ・同じ・同じ・同じ」など置き換えながら言葉の意味	ピザ 等分したもの

		を理解させる。	
終末 (10)	○本時の学習の振り返りをする。 ・ワークシートで書く練習をする。	・等分や〇分の1の書き方のまとめをする。	ワークシート



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
G	日本語で簡単なやり取りができる程度	中1(来日2か月)2名	JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE LESSON15

1. 目標 まとまったスピーチで自分の予定を話すことができる

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<p>○あいさつ・カレンダーワーク 口の体操「アメンボ赤いなあい うえお」</p> <p>○前の学習を振り返る (P188-189 イラストの説明を する)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい雰囲気を作る。言えたことをほめる。 ・ 語彙を忘れていている場合は補う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物(日付、口の体操) ・ 絵カード
展開 (30)	<p>○自分の「起きる」「着替える」などの生活習慣を振り返りながら、生活を示すイラストを時系列に黒板に並べ替えて、その横に時刻を記入する。 (起きる、朝ごはんを食べる、家を出る、学校で勉強する、家に帰る、風呂に入る、テレビを見る、宿題をする、晩御飯を食べる、寝る)</p> <p>○「晩御飯→風呂」のイラストを見て、「晩御飯の<u>後に</u>、風呂に入ります」と言う。他の例も絵カードを見ながら言う。</p> <p>○「朝ごはんの<u>前に</u>何をしますか」という質問に答える。 「朝ごはんの<u>前に</u>、起きます」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の一日の生活の流れを、「～のあとで」を使って時系列に言えるように、イラストを順に指示する。正しく言えていることを認める。 ・ 絵カードを見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カード ・ 簡単なタイムスケジュール表(模造紙)

	<p>○ターゲットセンテンスを復唱する「べんきょうのあとで　じゅうどうをします」「朝ごはんの前に　ジョギングをします」</p>		
<p>終末 (10)</p>	<p>○一日の生活の流れを、自分で書く。「晩御飯のあとで　宿題をします」「寝る前に　宿題をします」など。 ○発表をする</p>		

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
H	短い文が書ける。 漢字は小学校4，5年程度。	中国籍	例文 ワークシート

1. 目標 課題に沿って短い文が書ける。

2. 展開 個人指導

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	始めの挨拶 カレンダーワーク	生徒の様子を観察する	
展開 (40)	好きなことを考えてみる 好きなことについて 例文を読む 例文について考える ・あなたが好きなことはなんですか。 ・いつから始めましたか。 ・今どのくらいしますか。 短文を書く。 私は・・・が好きです。 私は・・・すると楽しいです。 私は・・・を続けていきたいです。 書けた短文を読む。	経験に基づいて考えられているか 一緒に読む 好きなことの内容について文書について修正をする きちんと読めているか。	例文 ワークシート
終末 (5)	終わりの挨拶		

私は _____ が好きです。

私は _____ をすると、
とても楽しいです。

私は _____ をずっと
続けていきたいです。

日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
I	教科学習に向けて 数学科	中学生 1年生	啓林館 1年 「正の数、負の数」

1. 目標

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<p>○小学校で学習してきた数は「0より大きい数」であり、それを「正の数」であることを確認する。</p> <p>○新しく「0より小さい」負の数を数直線で確認する。</p>	○前時の復習をする。	数直線の表を黒板に掲示する。
展開 (25)	<p>○計算スケールを使って、次の計算について考えてみましょう。 「負の数」－「正の数」 $(-2) - 3$ を数直線に表わして、答えを求めよう。</p> <p>○数直線に-2を設定してスケールで3つ数えればいい。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 5px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; background-color: #4a86e8; color: white;">-2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 5px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; background-color: #e91e63; color: white;">-5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; background-color: #e91e63; color: white;">-4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; background-color: #e91e63; color: white;">-3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">-1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</div> </div>	○計算スケールの使い方を説明する。	ワークシート
終末 (15)	○負の数から正の数をひく計算は <u>答えの符号は必ずマイナスになり、答えの絶対値は二つの数の和になる。</u>	絶対値の意味を理解させる。 まとめをワークシートに記入させる。	ワークシート

